

～ 秋のダイナミックワールド ～
 青の1組(年長児)で展開されている遊び

ミニゴルフ

遊びに使っていた大きな段ボールが、つぶれて平らになってしまい、それを何か遊びに使えないか考えたことから発展していった遊び。つぶれた段ボールの上に、ペットボトルのキャップを転がしてボーリングのように遊び始めた子どもたち。しばらくは、そうして遊んでいましたが、となりのクラスのゴルフ遊びに参加してきた子からの提案で、ゴルフのパターを使ってキャップを転がす遊びへと変わっていきました。すると、キャップでピンを倒すのではなく、キャップを到達点にいれるという遊びに変化していきました。その到着点には、目印になる棒を立てようというアイデアも出てきました。その棒を立てる為にどうしたらいいか考え、「穴を開けて棒を指す」「紐でひっぱり、バランスをとる」「釘で打つ」いろいろな意見が出てきて試してみましたが、どれも失敗。保育者からの助力もあり、最終的に土台となる段ボールに切り込みをいれ、そこへ紐を通して固定する方法で棒を立てせました。今は、この棒にキャップが当たったら「ホールインワン!」というルールで毎日楽しんでます。



かばんやさん

七五三の袋づくりがきっかけとなり生まれた遊び。千歳飴袋をつくった際、「一枚の画用紙から袋をつくる」ことに挑戦した子どもたち。翌日、画用紙やお菓子の箱など、様々な素材を置いておくと、それらを使って袋づくりが始まりました。「カバンやさんやろう!」「赤組(年少)さんや黄組(年中)さんにも、買ってもらう!」と、いくつもいくつもつくっていきました。お店を開くために必要なものも自分たちで考え、レジやお金、看板、準備中の札などのアイテムもすべて子どもたちがつくりました。



くつやおばけのペープサート

折り紙に割りばしをつけ遊んでいた子を見て、遊びが広がることを願い、保育者が段ボールをテレビのような形にセッティングしたことがきっかけで始まった遊び。段ボールの枠をみて、「テレビみたい」と興味を示した子どもたち。そのうちに、折り紙で折ったおばけをペープサートにしてそこで動かし始めました。すると、さらにたくさんのおばけが「おもしろい」と集まってきて、みんなでペープサートをつくり始めました。最初はおばけのペープサートだけでしたが、オペレッタ『くつやと小びと』に向けての活動が始まっていたこともあり、小びとのペープサートも登場してきました。覚えたてのオペレッタ『くつやと小びと』の歌をうたいながら、おばけと小びとがダンスをして観客を楽しませています。



1分くつ重ねゲーム

保育者が、同じ大きさの筒を12個見つけ、工作コーナーに置いたところ、ある子が筒を積み上げ始めたことがきっかけとなり生まれた遊び。筒を積み上げて遊んでいた子どもたちに、「みんなでもっと楽しくなる方法を考えよう」と提案しました。すると、筒に画用紙を貼り、オペレッタ『くつやと小びと』の靴に変身させようという意見が出てきました。その後、ストップウォッチでタイムを計り、1分でいくつ積み上げることができるかというルールのある遊びへと発展していきました。子どもたちは、日々、最高記録を更新するためにチャレンジしています。



自動販売機

青の1組にある遊びで使うものを自動販売機で買ってもらうという子どもたちのアイデアから生まれた遊び。

遊びに使う段ボールが足りなかったため、子どもたち同士で声をかけあい、段ボール集めをしていました。保育者もその声を聞き、大きな段ボールを探して用意しました。すると、その形や大きさが自動販売機にみえたのか、「自動販売機にしたい」という意見が出ました。みんなで話し合い、お金をいれると、青の1組の遊びに使う物が出てくるようにしようということになりました。大きな箱(自動販売機)の中には子どもがいて、お金が入ってくると、物を出します。ボールが転がるレーンから『ボーリングゴルフのボール』が出てきたり、窓から『くつやおばけのチケット』や『かばんやさんの購入チケット』が出てくる仕組みも子どもたちを保育者とで一緒に考えました。子どもたちのアイデアいっぱいの自動販売機です。



ハッピーくじ

レストランごっこのメニュー書きがきっかけで生まれた遊び。レストランごっこをしていた子どもたちが、紙にメニューを書き、それを折って、「何のメニューか?」という遊びをしていました。それを見ていた子が、「くじびきしようよ」と提案。小さく切った紙に、『大当たり』『当たり』『はずれ』と書き、半分に折った紙を、箱の中に入れ、くじびきを始めました。『大当たり』がでたら、青の1組の自動販売機で、ボーリングゴルフのボールを買える券をプレゼント。『当たり』がでたら、もう一回くじびきができる。『はずれ』がでたら、ものまねをするか、片足立ち10秒。というきまりも子どもたちが考えたもの。子どもたちは、ドキドキしながらくじびきを楽しんでいるようです。

